

## 文化功労者

## 飯島澄男



### 飯島澄男教授に 文化功労者

すでに各種メディアで報道があったとおり、電子構造系電子構造研究部門（客員研究部門）の飯島澄男教授が2003年度の文化功労者に選ばれました。1991年に飯島教授が電子顕微鏡を駆使して発見した「カーボンナノチューブ」は、現在のナノテクノロジーの分野でもっとも重要な物質であることは今さら言うまでもありません。さらにカーボンナノチューブは、超高温条件下における耐性や電子放出特性などに優れた性能を発揮することから、最先端の素材として様々な分野で実用化が検討されています。このように基礎学問のみならず広く社会全体に渡って多大な貢献をされたことが、今回の受賞につながったものと拝察いたします。

先生のご研究のますますのご発展とご健勝を心よりお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

（茅 幸二 記）